



未来に向かう学び〈持続可能学力〉って？

最近、紙面でもよく目にする「持続可能な発展」。環境、経済、社会など、さまざまな分野で取り組まれています。ならば、子どもたちの学びにも「持続可能性」を——〈持続可能学力〉。それはどんな学びで、なぜ大切にしたいのかを、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。



チャレンジする子どもたちのパートナー〈カエル・チャレンジャーズ〉
▶ <http://www.kaeru-chan.jp/>

超高齢化社会と人口減少とAIの進化と気候変動と……。

「当たり前」が通用しなくなる、これからの世界。突然現れる、今日とはまるで違う明日。

過去からの延長線上にはない「不連続な未来」は、子どもたちにとっては現実的な未来。だから強い意志と意図、判断と決断と行動が、生きていくためには必要です。それをとても大変なことのようと思う私たち大人。でも子どもたちは、今このときも「初めて」「未知」と出会い、「なぜ?」「どうして?」「これは何?」と、日々を生きています。大人がはっと

させられる問いを自分の中に動かしながら……。

詰め込んだ知識や技術は、テストが終わればもういらない。さらには、その知識や技術は時代とともに色褪せることも——そんな「消費期限付き学力」とは違う、将来にわたって使い続けることのできるチカラが〈持続可能学力〉であると、日能研は考えています。

課題に出合ったとき、それを自分ごととしてとらえる。与えられた情報は鵜呑みにせず、筋道を立てて考える。関係性を把握し、みつめる。判断する。情報も考えも周囲の人と共有する。〈考える〉を止める

ことなく、変化に向き合うのが常態。「なぜ?」「ではどうする?」を続けていく。未来への扉をあける、そのまた次の扉をあける「鍵」となる、そんなチカラ。〈持続可能学力〉を育んだ子どもたちは、想定外が当たり前だから、自分で考え、判断し、仲間と協力しながら、選んだ道を切り拓いていけるはず。経済成長のためだけの学びでなく、環境や社会を豊かに持続させていく。自分で自分を育てながら。

だから、日能研の全国テストは、「知っている?」だけでなく、「キミならどうする? どう考える?」を問うテスト。子どもたちの体験や身の回りの出来事

とつなげてほしいから、題材は身近なものばかり。アタマとココロが動き出す。自分のこととして自然と考え始めている。自分の中に問いが生まれる。——そんな体験を重ねることが、私学での学びに、そして豊かな未来へとつながっていく。子どもたちの〈考える〉そのものにアプローチする独自の評価方法もあわせて、〈持続可能学力〉を自分のものにしていく、動かし始めるきっかけとなるテスト。ぜひ体験してみてください。

過去や今の延長線上にない未来を歩む中で、課題や未知に自分ごととして向き合うチカラ。

日能研経由、私学へ。——そして未来へ。

10月22日

小3

小4

小5

11月5日

小2



日能研 全国テスト

参加無料

【科目】2科目(国語・算数)
【会場】お近くの日能研各校
【時間】1回目 9:00集合
2回目 13:00集合
※一部、教室によって実施要項が異なります。

保護者会同時開催!

今回の全国テストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

テストの詳細・お申し込みは

日能研 検索

または
お近くの日能研へ!
以下のQRコードからも!

学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

